

# 会報

第 151 号  
房総石造文化財  
研究会



酷暑から急に涼しくな  
った今日この頃、皆様いか  
がお過ごしでしょうか。  
『会報』十月一日号をお届  
けいたします。

皆さまのご協力により、  
会の活動も元の軌道に戻  
ってまいりました。誠にありがとうございました。  
さあ、いよいよ石仏探訪にピッタリの季節  
到来です。今年はバス研修旅行も復活します。  
日々お忙しいこととは存じますが、会の行事  
へのご参加、心からお待ちしております。  
時節柄、皆さまのご健康をお祈りいたします。

## 会報一五一号 目次

- ◆ 十月 バス研修旅行のご案内 〈一頁〉
- ◆ 十二月 石仏ゼミナールのご案内 〈三頁〉
- ◆ 一月 新年懇談会のご案内 〈三頁〉
- ◆ 会員御著書の紹介 〈四頁〉
- ◆ 四月見学会資料等のQRコード 〈四頁〉
- ◆ 事務局より(ご投稿のお願い) 〈四頁〉

## 十月 バス研修旅行のご案内

### 取手市周辺の石仏をめぐる

二〇一八年以来、六年ぶりのバス研修です。  
実は、二〇一九年秋に「取手周辺の石仏」をめぐ  
るバス研修旅行を予定しておりました。茨城  
県内も特徴ある石仏が多い地域ですので、その  
中で取手市周辺に絞り、春から数回、事務局で下  
見を繰り返しました。

バス会社ともコースを詰め、昼食のお店も予  
約し、さあ、いよいよ…という時に襲来したの  
が台風でした。「令和元年房総半島台風」です。  
本会会員でも大きな被害を受けた方々がいら  
っしゃいました。また、茨城県内も河川の決壊な  
どで大きな被害がありました。

とてもバス研修が出来る状況ではありません  
でしたので中止とし、事務局でも「来年はこのコ  
ースでリベンジが出来ると良いね」と話してい  
たのですが、翌年から始まった新型コロナ禍で、  
長い延期期間となってしまいました。

今回、いよいよ復活です。見学地は取手周辺と  
しましたが、六年ぶりに下見を行い、見学場所も  
再考してコースを組み直しました。急な坂道や  
長い石段はございません。

皆さま、秋の一日を、利根川近くの広々とした  
空の下、石仏見学をしませんか。  
会員ではない方のご参加も歓迎ですので、お  
誘い合わせの上お申込みいただければ幸いです。  
奮ってのご参加、どうぞよ  
ろしくお願いいたします。

#### 日時

令和六年十月十二日  
(土)

#### 集合場所・時間

JR常磐線取手駅東口改札 九時三十分  
(解散 取手駅にて十六時)

#### 予定のコース

① 戸頭・永蔵寺へ多様な石仏の宝庫！本堂  
の後ろ側に広がる世界。「隔夜夏念仏塔」  
「百堂念仏塔」…貴重です。馬頭観音、  
六十六部廻国塔もあります。六年前の下  
見のときにあった珍しい手水石が見当  
たらず。)

② 駒場・青龍神社へ地図では探せない、知  
る人ぞ知るスポットです。境内入り口の  
石仏群の中に疱瘡神が！そして貴重な  
「青麻権現」も！境内にはさりげなく力  
石もあり。)

